

平成 18 年度の決算状況

町道整備など投資的経費に約10億円

町では、皆さんから納めていただいた町民税・固定資産税などの町税や国・道からの補助金、地方交付税などで住みよいまちづくりを進めています。

平成 18 年度各会計の決算状況は表 1 のとおりです。水道会計を除く 5 会計の歳入総額は、前年度比1.5% 増の 66 億 3,285 万円、歳出総額は同1.7% 増の 64 億 9,035 万円となっています。

一般会計の歳入と歳出の決算内訳は表 2 のとおりとなっています。歳入総額のうち地方交付税が 47.4%、町税が 12.0% を占めており、一方、歳出では畑総事業、町道整備や公営住宅建設などの投資的経費が 22.4%、公債費が 21.6% を占めています。

水道会計を除く 5 会計の収支差し引き額 1 億 4,250 万円のうち、8,498 万円は、将来の財政運営に充てるため積み立てしています。

【表 1】各会計決算額 〈単位：万円〉

会 計 名	歳 入	歳 出	差引残額
一 般	437,829	430,011	7,818
国民健康保険	86,829	85,012	1,817
老人保健	77,461	75,113	2,348
介護保険	37,692	35,425	2,267
下水道	23,474	23,474	0
合 計	663,285	649,035	14,250
水道	収益的収支 19,855	20,734	△ 879
資本的収支	1,257	8,307	△ 7,050

平成 18 年度の主な投資的事業（一般会計）

事 業 名	事 業 内 容	事 業 費	左の特定財源	
			補助金等	町 債
地籍成果デジタル化事業	地籍図のデジタル化	1,182	898	0
道営畑総・農道整備事業	暗きょ排水、土層改良、農道整備ほか	※ 30,472	19,297	4,610
穂波仲通線道路整備事業	改良舗装	1,513	0	1,410
相内線交通安全施設整備事業	橋台、橋梁上部工、改良舗装	23,400	14,040	9,360
公営住宅建設事業	末広団地建替 1 棟 4 戸	8,686	3,746	3,830
訓小食堂アスベスト対策事業	アスベスト除去、天井復旧ほか	1,264	0	1,210
町道補修事業	町道の補修	2,843	0	0
町有林・保安林整備事業	新植、下刈、間伐、除伐、野そ駆除ほか	1,019	428	0

※ 道営事業の事業費は、町が支払った負担金の金額です

【表 2】

一般会計の決算内訳

【歳 入】

〈単位：万円〉

区分	科 目	決算額	構成比
自主財源	町 税	52,405	12.0
	分担金および負担金	9,985	2.3
	使用料および手数料	17,538	4.0
	繰 入 金	23,750	5.4
	諸 収 入	15,717	3.6
	そ の 他	5,316	1.2
	小 計	124,711	28.5
依存財源	地方譲与税等各種交付金	25,884	5.8
	地方交付税	207,525	47.4
	国庫支出金	24,717	5.7
	道 支 出 金	15,602	3.6
	町 債	39,390	9.0
	小 計	313,118	71.5
歳 入 計	437,829	100.0	

【歳 出】

区 分	決算額	構成比
人 件 費	82,580	19.2
物件費・維持補修費	67,178	15.7
扶 助 費	15,984	3.7
補助 費 等	40,917	9.5
公 債 費	93,039	21.6
積 立 金	620	0.1
貸 付 金	3,100	0.7
繰 出 金	30,324	7.1
投 資 的 経 費	96,269	22.4
歳 出 計	430,011	100.0

まちづくり

懇談会を開催

「まちづくり懇談会」を昨年 12 月 11 日、13 日、17 日の 3 日間公民館などで開きました。今年度のテーマは、財政状況、今後のまちづくり、町民基本条例の 3 点。延べ 58 人の住民の方が訪れ、町の説明に対し、さまざまな意見や提言が出されました。3 回の懇談会の内容は、今月号広報折り込みチラシに掲載していますので、ご覧ください。

ふるさと銀河線跡地利用等検討協議会

今後の跡地の利用方法を協議

「ふるさと銀河線跡地利用等検討協議会」を 12 月 6 日、総合福祉センターで開催しました。

3 回目の開催となる今回は、委員 28 人、オブザーバー 3 人が出席。今後の撤去計画と跡地利用について意見交換を行いました。

その概要は次のとおりです。

◆今後の撤去計画について

レールと枕木については撤去作業が進んでいます。今後については、来年度に二つの撤去作業を予定しています。

一つは、建物とホームなどの撤去で、内訳は訓子府駅構内の木造建物 5 棟と、穂波・西富・西訓子府の三つのホームになります。

二つ目は、電柱・電線など電気関係設備の撤去で、電柱が 3 1 2 本、電線が 4 万 2, 1 6 5 m などを撤去する予定となっています。

また、全線に敷かれている砕石と玉砂利は、跡地利用の状況を見ながら撤去を行うかどうかの判断をすることとしました。

◆跡地の利用方法について

1. 東町若富地区・日出市街・農地隣接地
この三つの区域は、宅地・社用地

または畑と隣接しているところです。跡地利用の提案では、植樹や地先に売却との意見が多く見られました。今回実施した意向調査の回答では、隣接の宅地所有者で購入を希望する、しないが分かれているところもあります。意見集約の結果、三つの地区とも現状のままで売却することが望ましいとの意見で一致しました。

2. 訓子府駅構内

駅の構内は、駅舎・農業交流センターと一体化となるスペースであることから、公園やイベント広場にすることや、市街地でもあり宅地として売却する意見、また、民間への貸与、そして、南北を縦断する道路が必要であるとの意見が出ていました。ここは、隣接する土地の事情によつて、ホームのある中心部分、メゾン銀河を含む東側部分、そして、宅地や社用地と隣接する西側部分の三つのブロックに分けることができます。

中心部分は、南北縦断道路の整備を含め、多目的スペースとして、東側部分は、居住空間を視野に入れた政策スペースとして、また、西側部分は、今回の意向調査で、宅地・社用地のほとんどが購入を希望する回答となっていたこともあり、地先に売却を基本に進めることとしました。

ふるさと銀河線

「レール文鎮」を販売します

くんねっぷ歴史館には「ふるさと銀河線のレール」が展示されています。レールには「50 N」との表示があります。この数字は、1 m 当たりの重さを表しており、「50 N」は 50 kg あります。

今回、町民の方から「形に残る記念を」との

要望が寄せられ、実際に訓子府駅構内で使用していた「50 Nレール」を加工し、「文鎮（ぶんちん）」（厚さ 1.5 cm 重さ 750 g）を 100 個製作しました。

この文鎮は、1 月 8 日から歴史館の窓口で、1 個 1,000 円で販売します。数に限りがありますので、町民の方に限り、一人につき 1 個の販売とさせていただきます。

企画財政課(☎ 47-2115 役場 2 階 窓口 12 番)

